

217046_1/21_0046

株式会社ブレス 殿

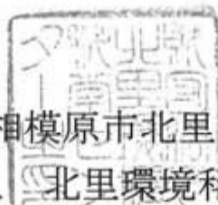
試 験 報 告 書

オールチタン AT-254 コートの抗ウイルス性能試験

(コーティング素材による試験)

北環発 21_0046 号
平成 21 年 8 月 31 日

神奈川県相模原市北里 1 丁目 1 5 番 1 号
財団法人 北里環境科学センター
理事長 伊藤 俊 洋



試験内容を公表する場合は、事前に当センターの承諾が必要です。
また、本報告書記載の試験結果は供試品に対するものであり
荷口（ロット）全体の品質を証明するものではありません。

抗ウイルス性能試験 ②

217046_1/21_0046

7. 試験結果

A型インフルエンザウイルスの試験結果を表-2及び図-2に示す。

コントロール試験品にウイルスを接種し8時間作用させた場合、初期ウイルス感染価から $1.2\log_{10}$ 減少した。一方、オールチタンAT-254コート加工したガラス板にウイルスを接種した場合、経時的にウイルス感染価の減少が認められ1分の作用で $0.2\log_{10}$ 減少、10分の作用で $0.4\log_{10}$ 減少、1時間の作用で $1.1\log_{10}$ 減少、8時間の作用で $1.7\log_{10}$ 減少した。コントロールとオールチタンAT-254コート加工した試験品のウイルス感染価の差は8時間作用後に $0.5\log_{10}$ であった。今回の試験ではA型インフルエンザウイルスに対して抗ウイルス効果を示す傾向が見られた。

以上

表-2 各作用時間におけるウイルス感染価 (A型インフルエンザウイルス)

検体	作用時間				
	0 (初期)	1分	10分	1時間	8時間
①オールチタンAT-254コートガラス板	1.4×10^7	1.0×10^7	5.4×10^6	1.2×10^6	2.5×10^5
②コントロール (未加工ガラス板)		***	***	6.3×10^6	8.4×10^5

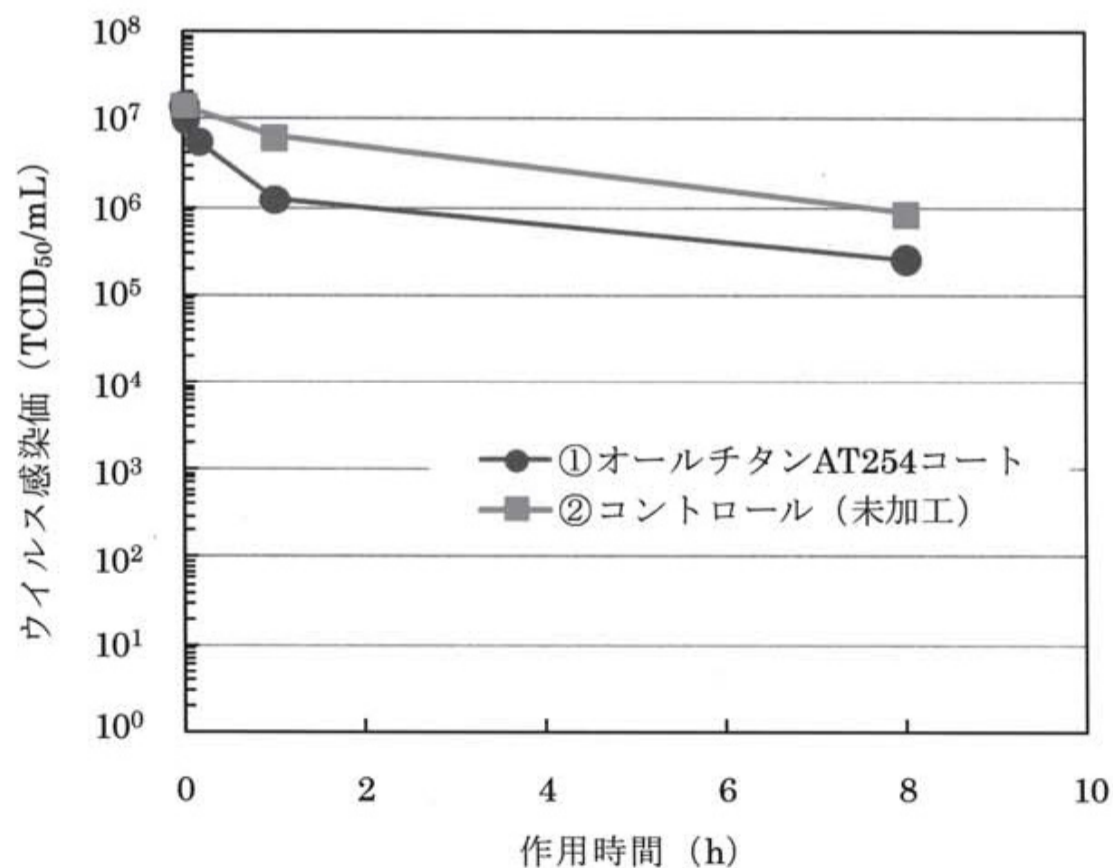


図-2 ウイルス感染価の経時変化 (A型インフルエンザウイルス)